

名古屋外国語大学 Global Open Campus 長期留学学内応募条件の変更について

1. TESS 留学(留学費用全額支援制度)など長期留学の選考基準が変わります

名古屋外国語大学では、TESS 留学(留学費用全額支援制度)をはじめとする長期留学の選考基準として、現在は TOEFL ITP を使用していますが、これを 3 年間の周知・移行期間を経た後、2030 年度募集から全面的に IELTS に変更することとします。IELTS への切替スケジュールは下に示した図の通りです。まず、①周知期間(2027 年度 1 期募集)は、現行の選考基準が適用されます。2027 年度 2 期募集から 2029 年度募集の 2 年半は②移行期間(併用期間)として、IELTS、TOEFL ITP いずれでも応募可能とします。4 年後の 2030 年度募集以降は③IELTS に全面切替となり、TOEFL ITP では応募できなくなります。

2027年度募集		2028年度募集		2029年度募集		2030年度募集以降	
1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集
①周知期間 現行基準	②移行期間(併用期間) IELTS、TOEFL ITP いずれの応募も可					③IELTS に全面切替	

2. (事例) TESS II (スタンダード) 留学の場合はこう変わります

ここでは、最も参加者の多い TESS II (スタンダード) 留学を例にとって具体的な選考基準の変更について説明します。

- ① 2027 年度 1 期募集では現行基準の TOEFL ITP 510 以上(2 枚平均)、GPA 2.0 以上が適用されます。
- ② 2027 年度 2 期募集から 2029 年度募集までは、IELTS 5.5 以上か TOEFL ITP 520 以上(1 枚)のいずれか、及び GPA 2.2 以上が選考基準になります。
- ③ 2030 年度募集以降は IELTS 5.5 以上、GPA 2.4 以上が選考基準となります。TOEFL ITP は使えなくなります。

	2027年度募集		2028年度募集		2029年度募集		2030年度募集以降	
	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集	1期募集	2期募集
TOEFL ITP	510以上	520以上	520以上	520以上	520以上	520以上	×	×
IELTS	×	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上	5.5以上
GPA	2.0以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.2以上	2.4以上	2.4以上
	周知期間	移行(併用)期間					IELTS に切替	

3. 長期留学の選考基準の移行スケジュールについて

*[②移行期間]以降の基準・実施時期については、状況に応じて変更の可能性があります

① 周知期間（～2027年度1期募集）（現行基準を適用）

留学種別		語学基準		成績基準
		IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESSⅠ（学位取得）留学			550以上	2.4以上
TESSⅡ（スタンダード）留学			510以上（2枚平均）	2.0以上
TESSⅢ（2か国）留学	英語×英語		550以上	2.4以上
	英語専攻×複言語		510以上	2.4以上
	仏中専攻×英語		470以上	2.4以上
TESSⅣ（航空サービス）留学			510以上（2枚平均）	2.0以上
UCR特別留学（応募は1年次2期以降）			510以上（2枚平均）	2.0以上
認定留学			450以上	2.0以上



② 移行期間（併用期間）（2027年度2期募集～2029年度2期募集）

留学種別	語学基準（いずれか）		成績基準
	IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESS I（学位取得）留学	6.0以上	550以上	2.4以上
TESS II（スタンダード）留学	5.5以上	520以上	2.2以上
TESS III（2か国）留学	英語×英語	550以上	2.4以上
	英語専攻×複言語	520以上	2.4以上
	仏中専攻×英語	480以上	2.4以上
TESS IV（航空サービス）留学	5.5以上	520以上	2.2以上
UCR特別留学	5.5以上	520以上	2.2以上
認定留学	4.5以上	450以上	2.0以上



③ IELTS完全切替後（2030年度1期募集以降）

留学種別	語学基準		成績基準
	IELTS	TOEFL ITP	GPA
TESS I（学位取得）留学	6.0以上		2.4以上
TESS II（スタンダード）留学	5.5以上		2.4以上
TESS III（2か国）留学	英語×英語		2.4以上
	英語専攻×複言語		2.4以上
	仏中専攻×英語		2.4以上
TESS IV（航空サービス）留学	5.5以上		2.4以上
UCR特別留学	5.5以上		2.4以上
認定留学	4.5以上		2.0以上

4. 今回の長期留学選考基準変更に至った背景

留学生の受入基準として海外の大学が設定している語学基準として、かつては TOEFL ITP が広く採用されていました。名古屋外国語大学ではこの TOEFL ITP を学内での長期留学への応募条件としており、本学の学生は TOEFL ITP のスコアを使って、学内の長期留学制度と海外の大学の交換留学の語学基準双方を満たして出願することができました。しかしながら、現在ではほとんどの海外大学において、IELTS に代表される 4 技能評価型の語学スコアが語学基準として要求されるようになった一方、本学の長期留学制度の学内応募のための語学基準は TOEFL ITP を継続して使用しているという状況があります。

そのため、現在、本学の長期留学の選考基準下では、留学を志す学生はまず学内の留学制度に採用されるために TOEFL ITP のスコア取得を目指して準備を重ね、本学の長期留学候補生として内定した後、数か月の比較的短い準備期間の間に、実際に留学先として希望する海外大学への出願のために、試験形態が著しく異なる IELTS のスコア取得を改めて要求されることになります。これは学生にとって大きな負担であり、IELTS に対する準備期間の不足から本来希望していた留学先の要件を満たすことができず、留学先を急遽変更したり、履修内容の変更を余儀なくされる学生が毎学期一定数生じています。

学内応募の基準を IELTS に切り替えることは、本学の留学制度への準備がそのまま留学先大学の語学基準到達を目指した準備にもなることを意味します。また、学内で年 6 回に実施が限られていた TOEFL ITP とは異なり、IELTS は全世界で公開テストが実施されており、名古屋地区であれば毎週、東京や大阪ではほぼ毎日受験機会があるため、大学入学前を含めて継続した準備も可能となります。これにより、学生はより余裕をもって、実際にどの大学への留学を希望するのか（最終的に目指すべきスコアは何点なのか）を意識しつつ計画的に留学の準備を進めることが可能となります。

以上が今回の選考基準変更に至った背景です。

5. その他

- ① IELTS の受験にあたっては、全国（海外も含め）の公式試験会場を利用してください。名古屋駅前であれば毎週末、東京・大阪ではほぼ毎日開催されています。※学内試験は実施しません
- ② IELTS の種別は「IELTS Academic」もしくは「IELTS for UKVI」を有効とします。「IELTS General Training」および「IELTS Life Skills」は対象外ですのでご注意ください。

以上